

## TS-5828S 送信機系統図 補足資料

TS-5828S送信機は5600MHz帯のなかで40CHの発射周波数を持っていますが、その中で電波法によりATVに許可されている波は下記の7波です。

15ch	:5785MHz
17ch	:5745MHz
24ch	:5790MHz
31ch	:5705MHz
41ch	:5740MHz
43ch	:5780MHz
44ch	:5800MHz

TS-5828S 送信機は内臓のCPUに40CHの周波数コードを書き込んだメモリーを持っていて、送信機の裏面に備え付けられているDIPスイッチにより周波数CH(11-18, 21-28, 31-38, 41-48, 51-58)を選択して読み出す事ができます。DIPスイッチにて希望のCHを選択すると、選択されたCH番号はEEPROMに書き込まれると同時にそのCH番号に対応する周波数コードがCPUより読み出されてRF-LSI (RTC-6705)の周波数シンセサイザー回路に出力され、キャリア周波数が生成されます。

ATVで使う周波数は上記のうち1波(1CH)を選択します。選択した後、容易にCH(周波数)が変更出来ない様にこのDIPスイッチ部位をアルミ板でカバーします。